



# ちば



# アグリ情報

Agri Information CHIBA



県代表の市立船橋高校に県産農畜産物でエール (7月31日\_市立船橋高校にて) 詳細はP.13

私たち全農グループは、**生産者と消費者を**  
**安心で結ぶ懸け橋** になります。



## CONTENTS

### 食と農を未来へつなぐ。

- 生産コストの低減と持続可能な農業に向けて

### 営農情報

- 園芸野菜 病害虫防除情報

### 園芸情報

- 販売経過および情勢

### 米穀情報

- 米穀情勢

### 肥料情報

- 有機肥料で高品質な農作物の安定した生産を！  
～有機質肥料の効果と働き～

### 資材情報

- 「はかる蔵・うご蔵」～「なんとなく」から「見える」管理へ。  
スマート農業で収量UP！～

### トピックス

- 全農のお肉工房 周年祭を開催！
- 甲子園出場の市立船橋高校に県産農畜産物でエール！
- 水稻 高温に負けない米作り研修会を開催
- 第7回南総サマーフェア 開催！



食と農を未来へつなぐ。

JA全農ちばの取組状況  
**肥料事業**

# 生産コストの低減と持続可能な農業に向けて

～予約結集による購買力の発揮とスケールメリットを活かした価格の抑制と  
国内地域資源の活用による肥料の安定供給を目指して～

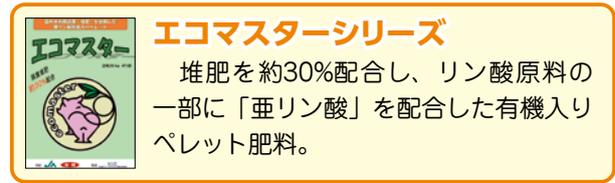
## 皆さまからの予約結集で 肥料価格引き下げに取り組んでいます！

複数の同様な成分の化成肥料を一つの銘柄に集約することで、大量生産による製造コストの削減と予約の積上げによる大量入札により、肥料価格を抑制します。



## 混合堆肥複合肥料（豚糞や牛糞入り）で 施肥と同時に土作り！

国内地域資源を活用することで、肥料原料の国際情勢に左右されにくく、肥料の安定供給に貢献します。堆肥を活用することで、化学肥料を削減し「みどりの食料システム戦略」「SDGs」に取り組みます。



## 担い手直送規格「メガ得」で農薬コスト削減！

大型規格にすることによるスケールメリットの創出に加え、受注生産、メーカー工場から生産者への直送等による流通コストの削減により価格の引き下げを実現。

### 水稲用一発除草剤

4ha～分の規格にすることで価格を引き下げ。  
剤型も粒・豆つぶ・顆粒・楽粒・ジャンボ・フロアブルと豊富にラインナップ。

### 水稲育苗箱処理剤

40kg規格にすることで価格を引き下げ。  
10kgのデカ得も！

### 園芸剤

園芸農薬においてもメガ得の取扱品目の拡大に取り組んでいます。

### 葉茎処理除草剤

お馴染みのパスタやラウンドアップを少しでもお得に！  
大容量規格（20ℓ）をご用意しました。

※写真は6ℓ

詳しくは、最寄りのJAにお問い合わせください

## 1. はじめに

気象庁によると8月は全国的に気温が平年より高い予報となっています。そのため、害虫の発生には特に注意をしましょう。また、一般的に高温時や作物が弱っている時は薬害のリスクが高まるため、薬剤防除は早朝か夕方の涼しい時間に行いましょう。

## 2. ねぎ

### (1) シロイチモジヨトウ **\* 本年の多発生に注意！**

シロイチモジヨトウの発生が多いことを周知する病害虫発生予察注意報が、7月16日に千葉県から発表されています。葉裏などに卵を卵塊で産みつけ、ふ化した幼虫は集団で群生して食害をします。以下の薬剤は特に効果が高いですが、浸透移行性がないため薬剤がしっかりかかるような散布を心がけましょう。また、必ず同じ系統の薬剤を連続で散布しないように心がけましょう。



### ○ねぎ シロイチモジヨトウ 防除薬剤

IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
5	ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日	2回以内
6	アニキ乳剤	1000~2000倍	収穫3日前	3回以内
	グレーシア乳剤	2000~3000倍	収穫7日前	2回以内
30	プロフレアSC	2000~4000倍	収穫前日	3回以内
UN	プレオフロアブル	1000倍	収穫3日前	4回以内

## (2) 白絹病



白絹病は高温（30℃程度）と多湿により発生しやすい病害です。地際～地下部の軟白部に白いカビや菌核（白い粒）が発生します。発生後の対策は困難ですので、土寄せを行う時にあわせて予防的防除を実施しましょう。

## ○ねぎ 白絹病 防除薬剤

FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
7	モンカット粒剤	4～6kg/10a	土寄せ時・ 収穫30日前	4回以内	予防
	モンカットフロアブル40	2000倍			
	アフエットフロアブル	2000倍	収穫前日	2回以内	予防
29	フロンサイド粉剤	15kg/10a	土寄せ時・収穫21日前	2回以内	予防
14	リゾレックス粉剤	20～30kg/10a	土寄せ時・収穫14日前	3回以内	予防
11+4	ユニフォーム粒剤	9kg/10a	土寄せ時・収穫45日前	1回	予防
11	メジャーフロアブル	2000倍	収穫前日	3回以内	予防・治療

## (3) 軟腐病



軟腐病も白絹病と同様に高温（30～35℃）で発生しやすいです。地上部の生育不良やしおれから始まり、株元や軟白部が軟化腐敗し、腐敗臭が発生することが特徴です。細菌病のため効果的な薬剤が限られます（下表）。土壌伝染する病害ですので、株元にもかかるよう散布しましょう。

## ○ねぎ 軟腐病 防除薬剤

FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数※	備考
31	スターナ水和剤	2000倍	収穫7日前	3回以内※	予防・治療
31+M1	ナレート水和剤（スターナ+有機銅）	1000倍	収穫14日前	3回以内※	予防・治療
31+24	カセット水和剤（スターナ+カスミン）	1000倍	収穫14日前	2回以内※	予防・治療
P2	オリゼメート粒剤	6kg/10a	土寄せ時・収穫30日前	2回以内	予防

※スターナ・ナレート・カセットは合わせて3回以内（共通成分：オキシリニック酸）

### 3. トマト

#### (1) オオタバコガ **\* 本年の多発生に注意！**



シロイチモジヨトウ同様に、オオタバコガの発生も多いため、被害の拡大が懸念されます。オオタバコガはヨトウムシと異なり、一卵ずつ点々と産卵するため、初期被害も点々としていきます。中齢幼虫以降になると可食部に潜り込むため、被害は極めて大きくなります。レタス、アブラナ科、ウリ科、ナス科、その他多くの野菜、花卉類を食害するため被害が大きくなる前に早めの防除を実施しましょう。

#### ○トマト オオタバコガ 防除薬剤

IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
5	ディアナSC	2500～5000倍	収穫前日	2回以内
6	アフーム乳剤	2000倍	収穫前日	5回以内
28	ベネビアOD	2000～4000倍	収穫前日	3回以内
30	グレーシア乳剤	2000倍	収穫前日	2回以内

#### (2) トマトキバガ **\* 被害の拡大に注意！**



令和7年7月1日に県内のミニトマト栽培施設において、本虫と疑われる幼虫の寄生が確認されました。県内におけるトマトキバガの発生については令和5年9月28日にフェロモントラップへの誘殺が初めて確認され、令和5年10月6日付けで令和5年度病害虫発生予察特殊報第4号が発表されていきました。その後も誘殺が確認されていきましたが、今回、県内の農作物での被害が初めて確認されました。今後被害が拡大する恐れもありますので、発生を拡大させないためにもトマトキバガに登録のある以下の薬剤を散布しましょう。

#### ○トマト トマトキバガ 防除薬剤

IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
5	ディアナSC	2500～5000倍	収穫前日	2回以内
6	アフーム乳剤	2000倍	収穫前日	5回以内
28	ベネビアOD	2000倍	収穫前日	3回以内
30	グレーシア乳剤	2000倍	収穫前日	2回以内

園芸情報

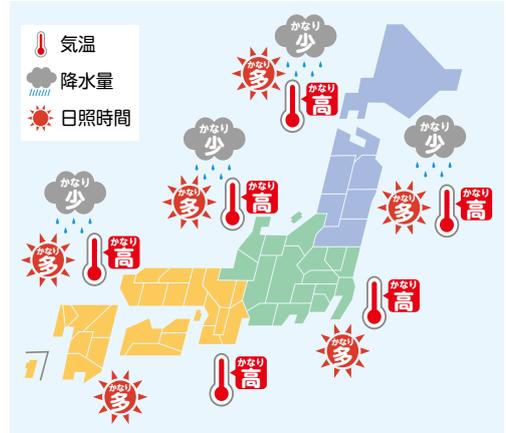
# 販売経過および情勢

## 青果物 7月の販売経過

7月の天候は、偏西風が平年より北に位置し、太平洋高気圧の張り出しも強まった影響で、全国的に記録的な高温となり、月平均気温は7月として統計開始以来最も高く、全国153地点のうち98地点で最高記録を更新しました。日本全体の月平均気温偏差は+2.89℃で、1898年の統計開始以降で最も高くなりました。

降水量は、北日本太平洋側や北・東・西日本の日本海側を中心にかなり少なく、特に東日本日本海側では月降水量は7月として過去最少となりました。

日照時間は、北・東・西日本の太平洋側および日本海側でかなり多く、特に東・西日本日本海側では統計開始以来最も多い7月の日照時間を記録しました。



### 【野菜】

高温の影響から品質不良が散見される品目があり、加えて7月中旬ごろまでは概ね順調に生育が進んでいましたが、梅雨末期には局地的な豪雨、梅雨明け後には雹（ひょう）による被害が発生した地域がありました。

野菜の1kgあたりの価格を見ると、6月上旬以降は280円台後半から290円台で推移している状況が続き、7月に入っても月上旬が287円（前年比109%）、中旬が292円（同102%）と高水準で推移しました。

特ににんじん・きゅうりの価格が平年より2割ほど高くなり、中でもきゅうりは中旬以降に入荷量が増えたものの、それを上回る需要があり、品薄での価格高となりました。

### 【果物】

果物では、すいか類・もも類・メロン類を中心に、すもも・ハウスぶどう・日本なしなど、品目が豊富でした。高温の影響ですいか類は需要が高まり、販売は好調でした。一方でもも類は、主産地である山梨県を中心に生育の遅れが見られ、干ばつ傾向の影響で玉伸びも鈍く、7月後半の「海の日」前には特に供給不足感が強まりました。

7月の果実全体の入荷量は前年比95%とやや少なめで、1kgあたりの価格は603円（前年比106%）と、やや高値で推移しました。

※数値はどれも東京都中央卸売市場統計データによる

### 東京都中央卸売市場の野菜・果実入荷量および単価（7月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
野 菜	104,817	99	291	102
果 実	29,391	95	603	106

### JA全農ちばの販売状況（7月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	9,659	96	258	100	2,493	96
果 実 計	3,753	88	339	123	1,271	108
にんじん	653	77	166	99	109	76
キャベツ	1,002	132	56	113	56	150
ほうれん草	18	78	580	97	10	78
ね ぎ	625	91	324	108	203	98
パセリ	19	101	854	90	16	91
きゅうり	538	100	274	98	148	98
トマト	511	70	267	119	136	83
ししとう	74	108	1,235	104	91	113
とうもろこし	1,986	89	254	105	505	93
枝 豆	122	100	765	131	93	131
メロン	1,055	81	444	119	469	96
すいか	2,737	89	278	128	761	115

# 8月主要品目

## 作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+10%以上
やや多・やや高	+5%～10%
並	±5%以内
やや少・やや安	-5%～10%
少・安	-10%以上

入荷量・価格は東京都中央卸売市場の集計です

品目	入荷量 (t)		単価(円/kg)		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	並	15,989	並	94	群馬 岩手	主力の群馬・岩手の生育は概ね順調。出荷量は潤沢となった前年並みを見込む。価格は潤沢な出回りから、苦戦した前年並みを見込む。
だいこん	やや少	6,242	やや安	124	北海道 青森	北海道・青森は高温や干ばつの影響により前年をやや下回る出荷量となる見込み。価格は青果物全般的に荷動きが鈍く、前年をやや下回る見込み。
にんじん	やや少	6,333	やや高	119	北海道 青森	東北産は肥大が進まず、細物傾向のため前年を下回る出荷量となる見込み。価格は荷動きが鈍いものの、出荷量が少ないため前年を上回る推移の見込み。
トマト	並	7,457	並	422	北海道 福島	夏秋作の出荷は中旬にかけて最盛期を迎えるが、下旬以降は猛暑の影響により減少が見込まれる。価格は中旬までは、前年よりやや鈍い動きとなるものの、下旬以降は前年と同様に堅調に推移する見込み。
きゅうり	やや少	7,567	並	401	福島の 岩手 秋田	東北産の露地作は上旬まで出荷ピークとなるが、その後は干ばつの影響から少ない出荷となる見込み。入荷は少ないものの荷動きは鈍いため、価格は前年並みを見込む。
ねぎ	並	3,675	やや安	367	茨城 秋田 青森 北海道	一部の圃場では病害虫の発生が散見されているが、生育は概ね良好で前年並みの出荷を見込む。価格は小売・量販店や業務需要の荷動きが鈍く、軟調な展開を見込む。
ほうれん草	並	568	並	973	群馬 栃木	主力産地の出荷量は高温の影響から、徐々に減少傾向となる見込み。価格は、出荷量の減少から、荷動きが良くなり浮上が見込まれ、前年並みの価格で推移する見込み。
パセリ	並	37	やや安	2,189	長野 千葉	猛暑の影響により、主力産地の出荷量は減少する見込み。価格は、出荷量の減少に伴い徐々に荷動きが良くなるが、業務需要の停滞により前年をやや下回る見込み。
ししとう	やや少	82	やや安	2,082	千代田 高知	作付面積の減少に加えて高温障害も懸念されるため、出荷量は前年を下回る見込み。業務需要を中心に注文が減少しているため、前年を下回る価格を見込む。
さつまいも	やや少	1,827	並	294	茨城 千葉	連休前は残量が少ないため堅調な価格を見込まれる。連休後は生育順調な新芋が増加するため、気温高による消費の停滞から軟調な価格展開が見込まれる。
なし	やや少	6,183	並	532	千代田 茨城 福岡	生育は良好だが、降雨が少なく小玉傾向での出荷となり、幸水は上旬頃に出荷最盛期を迎える。価格は小売・量販店からの引き合いが強くなり、前年並みを見込む。

# 花 販売情勢

## ◆7月の販売経過【切花】

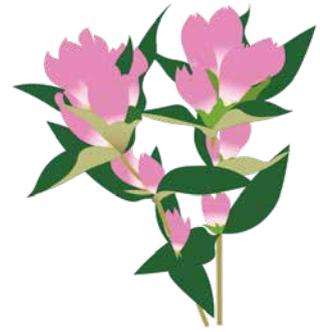
本年は、昨年と同様に全国的に気温高の日が続いたことから生育不良となる品目が散見されました。また、梅雨の時期に雨天となる日が少なかったことから、水不足となった地域が多かったことから月を通して不安定な入荷となりました。

販売については、月前半は7月盆に向けて菊類を中心に仏花商材で動きが見られ、安定した販売となりました。中旬以降、需要は落ち着きましたが、入荷量が安定しなかったことから大きく相場が崩れることはなく、安定した価格での販売となりました。月末にかけては、8月盆に向けて仏花商材を中心に徐々に動きが出始めましたが、物価高の影響から嗜好品である花の一般消費が鈍い状況が続いたため、花き全体では厳しい販売状況となりました。

## ◆今後の見通し（9月）【切花】

昨年と同様に厳しい残暑となれば、多くの品目で生育不良となることが懸念されます。また、台風の発生件数が多い月であり、月を通して天候状況に入荷が大きく左右されることから、品質・入荷量ともに不安定となる見込みです。

販売については、中旬から、彼岸に向けて仏花商材を中心に需要が高まり、敬老の日に向けてはピンク色のリンドウをはじめ洋花等も動きがある見込みです。また、他にも月見・ブライダルなどの需要もあるため、和花・洋花ともに比較的安定した需要が見込まれます。



## ◆今後の見通し（9月）【品目別】

品 目	作 柄 お よ び 概 況
千 日 紅	千葉を中心とした出荷。 生育は概ね順調に推移しているため、前年並みの入荷となる見込み。 彼岸需要を中心に季節商材として動きが出る見込み。
輪 菊	愛知を中心に長野・秋田などからの出荷。 夏場の高温の影響による生育不良から不安定な入荷となることが懸念される。 彼岸需要を中心とした販売になる見込み。
カーネーション	長野・北海道などからの出荷。 夏場の高温の影響から入荷量は平年を下回る見込み。 彼岸需要を中心の動きとなる見込み。
ガ ー ベ ラ	静岡・愛知などからの出荷。 現在、高温による生育不良が見られているため、入荷量は平年を下回る見込み。 業務需要中心の販売となる中、品質不安から鈍い荷動きとなる見込み。

米穀情報

# 米穀情勢

## 1. 米穀の需給見通しの公表見送りについて

令和7年7月30日に農林水産省「食料・農業・農村政策審議会 食糧部会」が開催されました。米穀需給の見通しについては、今後行う検証等をふまえて検討の上決定することとし、具体的な数値の公表は見送られました。

【表1】 令和7年5月時点の主食用米等の令和6／7年および令和7／8年の需給見通し (7/30食糧部会資料より)

令和7年5月 基本指針			現時点でわかっている値	
【令和6/7年の主食用米等の需給見通し】			【数値は、今後行う検証等を踏まえて検討】	
(万トン(玄米))				
令和6/7年	令和6年6月末民間在庫量	A	153	153 <令和6年6月末民間在庫量(確定値)> ※1 このほか全届出業者(7万業者)を対象とした調査の在庫量6万トンが存在
	令和6年産主食用米等生産量	B	679	679 <令和6年産水稻の収穫量(主食用)(確報)>
	令和6/7年主食用米等供給量計 C=A+B		832	832 <令和6/7年主食用米等供給量計> .....① ※2 このほか政府備蓄米 36万トンを供給(注3) .....②
	令和6/7年主食用米等需要量	D	674	711 ... ① + ② - ③
	令和7年6月末民間在庫量 E=C-D		158	157 <令和7年6月末民間在庫量(注4)> .....③ (政府備蓄米12万トンを含む) ※3 このほか全届出業者(7万業者)を対象とした調査の在庫量6万トンが存在
【令和7/8年の主食用米等の需給見通し】				
(万トン(玄米))				
令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量	E	158	157 .....③
	令和7年産主食用米等生産量	F	683	735 <令和7年6月末時点の主食用米の作付意向> (136.3万ha→ 735万トン(対前年 +56万トン)) (注5)
	令和7/8年主食用米等供給量計 G=E+F		841	892 <令和7/8年主食用米等供給量計> ※4 このほか政府備蓄米25万トン(6月30日時点)を供給予定(注6)
	令和7/8年主食用米等需要量	H	663	<今後検証>
	令和8年6月末民間在庫量 I=G-H		178	

注1:上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。  
注2:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。  
注3: 6月末までに供給された政府備蓄米36万トンは、入札による備蓄米:31万トン、随意契約による備蓄米:5万トン。  
注4: 6月末の民間在庫量は、年間取扱数量500トン以上の業者(販売・出荷段階)の在庫量に「生産者の米穀在庫等調査」の対前年増減率等を基に算出した在庫量を加えたもの。  
注5: 令和7年産米の生産量は、主食用米の作付意向136.3万haに年平均単収539kg/10aを乗じたもの。  
注6: 政府備蓄米の供給予定数量25万トン(6月30日時点)は、全て随意契約による備蓄米。  
※数量は玄米ベース

## 2. 7年産米の作付け動向について

農林水産省が7月30日に公表した各都道府県の6月末時点の主食用米作付意向は、136.3万ha（対前年10.4万ha増）と見込まれており、6年産実績と比較し全国的に主食用米の作付けが増加しています。

また、年平均単収（539kg/10a）で生産量を計算すると、735万トン（対前年56万トン増）に相当します。

735万トンは、過去5年間で最大の生産量となる見込みであるとともに、増加の伸びも主食用米の生産量の調査を開始した平成16年産以降、最大となる見込みです。

千葉県の前作付動向については主食用米（対前年比5.6千ha増）・新市場開拓用米（輸出用米等）は増加傾向、加工用米・米粉用米・飼料用米は減少傾向となっています。

J A全農ちばは生産者の皆さまのお米を確実に取引先に結び付け、販売してまいります。令和7年産米もJ Aへの出荷をよろしくお願ひします。

【表2】令和7年産主食用米、備蓄米および戦略作物の作付状況（7/30食糧部会資料より）

《表2-1》全国計

(万ha)

	主食用米	備蓄米	戦略作物						
			加工用米	新規需要米				麦	大豆
				新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵 粗飼料用稲)		
R3年産	130.3	3.6	4.8	0.7	0.8	11.6	4.4	10.2	8.5
R4年産	125.1	3.6	5.0	0.7	0.8	14.2	4.8	10.6	8.9
R5年産	124.2	3.5	4.9	0.9	0.8	13.4	5.3	10.5	8.8
R6年産	125.9	3.0	5.0	1.1	0.6	9.9	5.6	10.3	8.4
R7年産 (6月末時点)	136.3	-	4.4	0.9	0.4	4.9	5.0	9.6	7.6
対前年差	10.4	▲3.0	▲0.6	▲0.2	▲0.3	▲4.9	▲0.7	▲0.7	▲0.9

《表2-2》千葉県計

(千ha)

	主食用米	備蓄米	戦略作物						
			加工用米	新規需要米				麦	大豆
				新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵 粗飼料用稲)		
R7年産 (6月末時点)	53.9	-	1.5	0.1	0.0	2.1	0.9	0.4	0.2
対前年差	5.6	▲0.1	▲0.6	0.1	▲0.1	▲4.5	▲0.4	▲0.1	±0

注1：主食用米および戦略作物の7年産意向は、地方農政局等が6月末時点で都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（麦・大豆は基幹作の面積）。  
 2：主食用米の6年産以前の実績は、統計部公表の主食用米作付面積。  
 3：加工用米および新規需要米（新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稲）の6年産以前の実績は、取組計画認定面積。  
 4：麦・大豆の6年産以前の実績は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。  
 5：備蓄米は、7年産米の入札を当面中止。6年産以前の実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。  
 6：単位未満で四捨五入しているため、対前年差について、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

### 3. 米価高騰の要因および今後の政策の方向性について

令和7年8月5日、政府は「米の安定供給等実現関係閣僚会議（第3回）」を開きました。米の価格上昇は需要に対して生産が不足していたこと、農林水産省が必要な対応を取らなかったことが「さらなる価格高騰」を招いたとしました。また、今後の対応として米の増産にかじを切ると強調しました。

【表3】米の安定供給等実現関係閣僚会議（第3回）のポイント

#### 《米価高騰の要因》

- ① 需要量の見通しを立てる際に、訪日外国人の増加の影響などを考慮していなかった。
- ② 供給量の見通しを立てる際に、精米歩留まりの低下を考慮していなかった。
- ③ 農水省が流通実態の把握に消極的で、市場への情報発信も不十分だった。備蓄米の放出時期も遅れた。

#### 《今後の政策の方向性》

- ① 耕作放棄地も活用しつつ、増産にかじを切る政策に移行
- ② 農地の集積・集約・大区画化やスマート農業技術の活用を通じた生産性の向上
- ③ 輸出の抜本的拡大
- ④ 精米ベースの供給量と需要量を把握し、余裕を持った需給見通しの作成
- ⑤ 環境に配慮した取り組みを支援する新たな仕組みの創設

## 4. 安全・安心な米作りは作業場の管理から

異品種や異物の混入は産地の信頼を失う重大な事故につながります。

収穫前の圃場確認や、刈取や乾燥・調製作業を開始する前の機械清掃、および品種を切り替える際に機械に残留しているお米の払い出し確認など、管理・確認を徹底しましょう。

【図表4】異物等混入事故の事例

**圃場・作業場の管理を徹底しましょう**

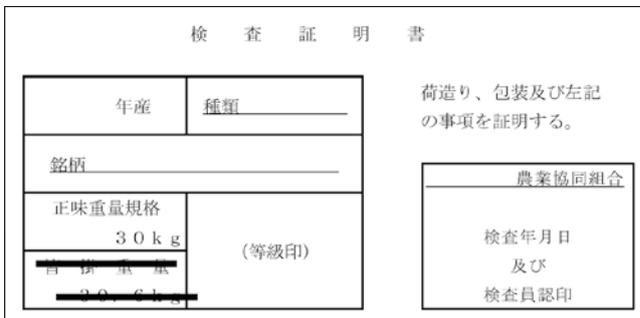


## 5. 旧紙袋（検査証明書欄に皆掛重量が入っている紙袋）の使用について

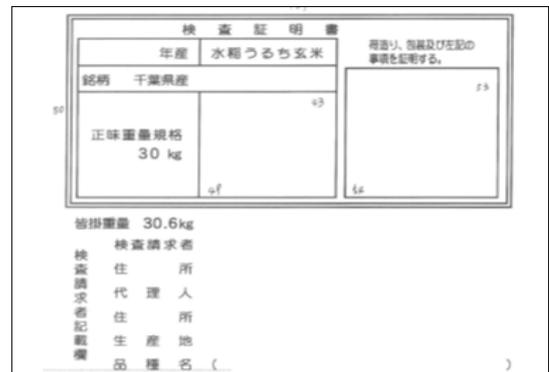
令和4年産より、農産物検査法改正に伴い「皆掛重量」が検査証明書欄から削除されました。変更前の在庫品については猶予期間（令和5年8月31日）が終了しています。変更前の在庫品をお持ちの方はお早めにご使用いただきますようお願いいたします。また、ご使用の際は以下のとおりご対応をお願いいたします。

【図表5-1】旧米袋が残った場合の訂正方法

【図表5-2】(参考) 現行の紙袋デザイン



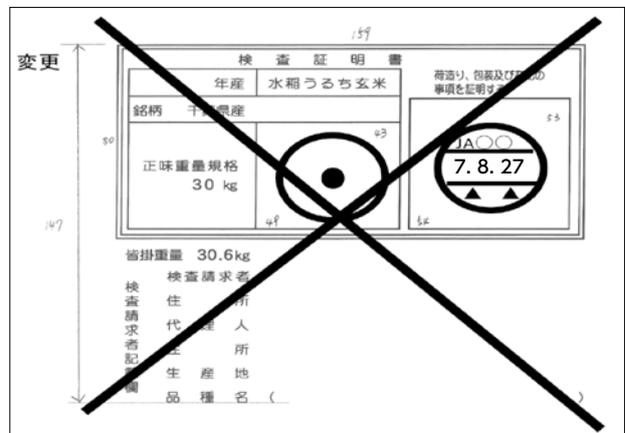
※検査証明書欄に含まれる皆掛重量を消してください。



## 6. 使用済空袋の適切な使用について

一度使用された農産物検査証明の表示がある米の袋に再び米を入れて流通させる場合は、農産物検査証明の表示を除去または抹消したうえで流通させてください。農産物検査証明の表示を除去または抹消せず再び米の袋に入れて流通させた場合は、農産物検査法に基づく罰則が科せられます。（1年以下の懲役または100万円以下の罰金）

【図表6】検査証明等の表示を抹消する場合の例



訂正とお詫び

7月号p.9に掲載の「米穀情勢」について、一部表記に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。正しくは右表のとおりです。修正したものをJA全農ちばホームページ内に掲載しています。  
<https://www.zennoh.or.jp/cb/producer/agriinfo/>

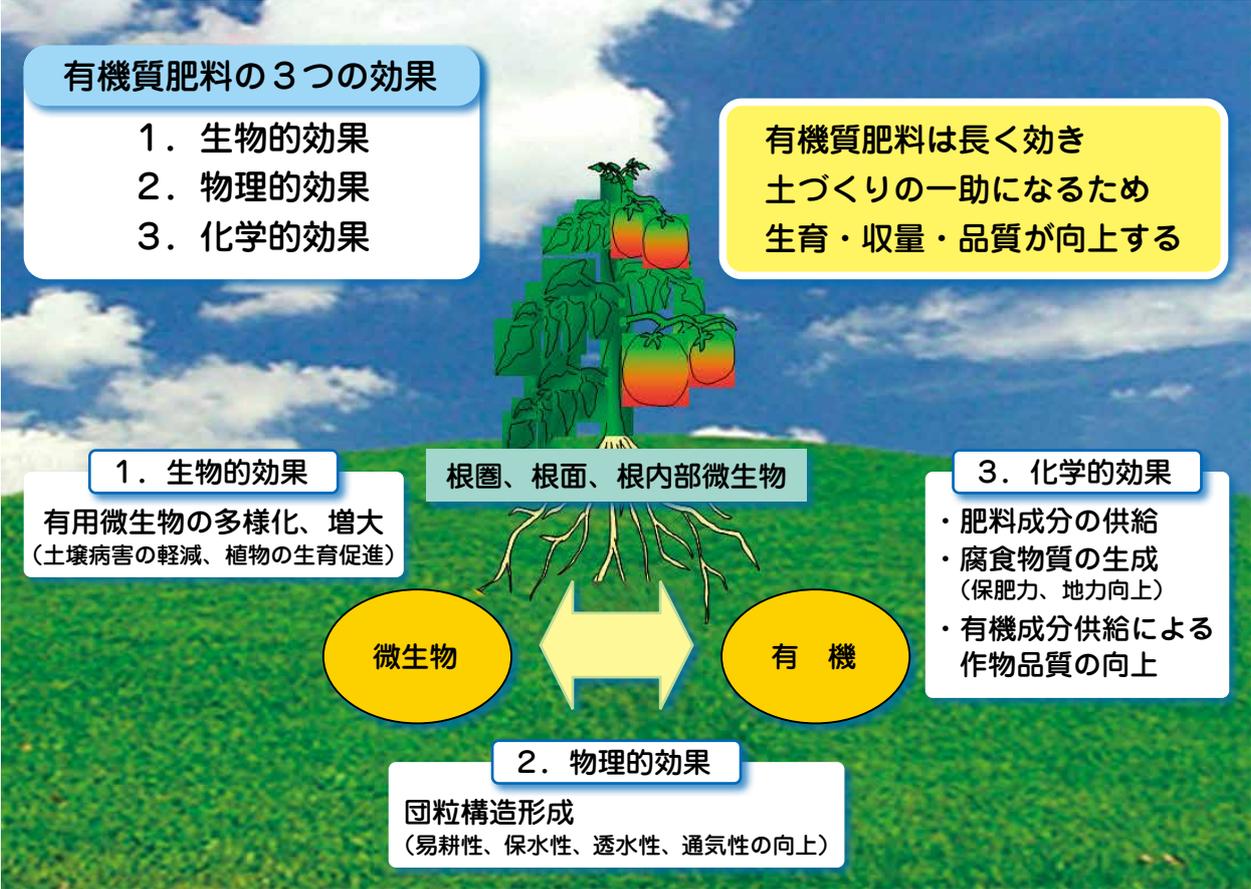
Ⓢ 4. カメムシによる不稔、反転米対策について  
 Ⓢ 4. カメムシによる不稔、斑点米対策について



**肥料情報**

# 有機肥料で高品質な農作物の安定した生産を！

～有機質肥料の効果と働き～



## 野菜向け有機質肥料の紹介

品名	保証成分(%)			有機率	特長
	窒素	リン酸	加里		
ジシアン有機特806	8	10	6	約50%	緩効性有機化成。チッソが流亡しにくい。
ちばやさい808	8	10	8	約35%	千葉県専用低コスト有機化成肥料。
味好1号	6	8	4	約70%	窒素成分の全量が有機由来。苦土入り、ペレット状。
旬鮮野菜006DX	10	10	6	約30%	マンガンホウ素の微量元素入り有機化成肥料。
スーパーマイルド086号	10	8	6	約56%	硝酸態チッソ1.5%含有有機化成。
やさいみどり有機	8	9	7	約53%	原料にひまし油粕、魚粕等を使用。
有機アグレット666	6	6	6	約70%	有機態窒素100% 化学肥料使用していない。

詳しい使い方については最寄りのJAにお問い合わせください

資材情報

# 「はかる蔵・うご蔵」

～「なんとなく」から「見える」管理へ。スマート農業で収量UP！～

ハウス栽培は「温度管理が命」と言われるほど、環境の制御が収量・品質に直結します。しかし実際の現場では、「朝夕の寒暖差が読めない」「CO<sub>2</sub>が不足していたことに気づけなかった」「換気タイミングが遅れた」など、勘や経験に頼った管理に限界を感じる場面も少なくありません。

こうした悩みを解決する手段として注目されているのが、環境モニタリング機器と複合制御機器です。これらはハウス内の温度、湿度、CO<sub>2</sub>濃度、照度などをリアルタイムで測定し、数値として“見える化”すると同時に、設定した条件に応じて換気扇やミスト、遮光設備などを自動制御する仕組みです。今回は、全国で導入が進んでいる「はかる蔵・うご蔵」を紹介します。

## (1) 「はかる蔵」(環境モニタリングシステム)

「はかる蔵」とは、温度・湿度・日射量・CO<sub>2</sub>濃度・地温を測定できる環境モニタリングシステムです。お使いのスマホやPCから、簡単に圃場の状態を確認することができます。

※土壌水分を測定する子機や、ECを測定する子機、外気温を測定する子機をオプションで導入できます。

- いちご生産者自らが開発し、現場の声を反映したシステム
- 設置が簡単
- 九州を中心に全国トップレベルの導入実績
- 生産管理機能が充実（分析、日誌、スケジュールの共有、市況、天気など）

- 正確で安定したデータ測定

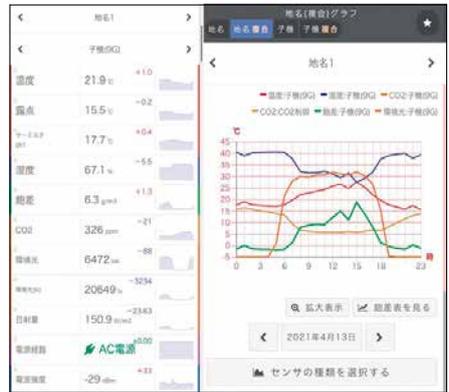


はかる蔵親機

はかる蔵子機

土壌有線型pF子機

※オプション



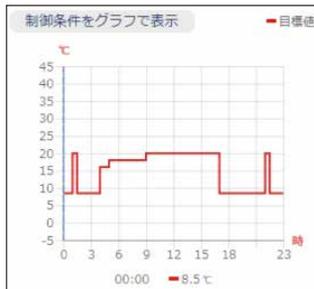
## (2) 「うご蔵」(複合環境制御機器)

「うご蔵」とは、「はかる蔵」と併せて使用する複合環境制御機器です。暖房機、光合成促進機、灌水装置、ミスト、循環線等に接続することで、遠隔での制御が可能になります。

- 「うご蔵」1台で最大4chの制御が可能です。
- 「はかる蔵」のアプリから、自動制御のルール登録や手動制御などすべて設定可能です。
- 自動制御のルールは、「テンプレート」を使って簡単に設定でき、手動制御をする際は、画面に表示された操作ボタンを押すだけで、簡単に操作できます。
- 基本プランでも12段階まで設定できるため、加温の段階的な制御などを実現できます。



うご蔵



ご不明な点はお気軽に最寄りのJAまたはJA全農ちば資材課(043-245-7379)にご連絡ください

## TOPICS

### 全農のお肉工房 周年祭を開催！

全農のお肉工房 さだもと店は開店8周年を記念し、8月2日(土)～3日(日)に周年祭を開催しました。

当日は台風の接近が危ぶまれるなか、年に1度のフェアに多くのお客さまが来店しました。

売り場では、千葉牛・若潮牛・房総ポークの感謝セールのほか、恒例の国産豚の味噌漬けの試食や“よりどりセット”を販売しました。また、房総ポークをより手軽に味わっていただけるようにと、この日からお店で揚げたてのメンチカツとヒレカツを販売し、試食も実施しました。

J A全農ちばは、全農のお肉工房を通して、千葉県産畜産物のもつ特徴や生産者の想いを消費者に直接PRし、対面販売によって千葉県産畜産物の魅力を発信してまいります。



## TOPICS

### 甲子園出場の市立船橋高校に 県産農畜産物でエール！

J A全農ちばとJ Aいちかわ、J Aちば東葛は7月31日(木)、県内生産者・J Aを代表し、「第107回全国高校野球選手権大会」に出場を決めた市立船橋高校に対して、新鮮な県産農畜産物を贈呈。千葉県農業の力で選手に英気を養ってもらおうと、県内生産者からのエールを届け、甲子園での健闘を祈念しました。

松元善一運営委員会会長は、「生産者の想いが詰まった県産農畜産物で、今まで鍛え抜いた精神力を発揮しチーム一丸となって全力を尽くしていただきたい。また、県内屈指の名門校として、深紅の大優勝旗を千葉県にもたらしたい」と激励の言葉を贈りました。

贈呈を受けた同校の近藤義行校長は「自分たちの持っている力を出し切るのは大変。力以上のものを出すためには、ご支援、ご協力がなくてはならない。農畜産物を皆でいっぱい食べて体を大きくする。甲子園での経験を生徒たちの将来に結び付けたい。」と感謝の言葉を述べられました。

同校は、3年ぶり7回目となる夏の甲子園出場となりました。



健闘を願い贈呈する松元会長(左)

#### 同校に贈った 農畜産物

- |                                |       |
|--------------------------------|-------|
| <b>J Aいちかわ</b>                 |       |
| ・船橋市産梨の「幸水」                    | 50kg  |
| ・千葉県産の精米「パールライス米」              | 100kg |
| <b>J Aちば東葛</b>                 |       |
| ・にんじん・じゃがいも・たまねぎ               | 各20kg |
| ・野田市産の精米「コシヒカリ」                | 100kg |
| <b>J A全農ちば</b>                 |       |
| ・県の銘柄豚「房総ポーク」のウインナー            | 300本  |
| ・J A全農ちばオリジナルの「フルーツ&キャロット」ジュース | 300缶  |

# TOPICS

## 水稲 高温に負けない米作り研修会を開催

JA全農ちばは7月4日(金)、ホテルウェルコ成田にて、「水稲 高温に負けない米作り研修会」を開催しました。この研修では、夏季高温対策の一環として、水稲における総合的な対策を学び、JA・JA全農ちばの取り扱う水稲・米の品質向上、集荷向上、購買事業の拡大を目的として開催しました。



当日は、9JA27名の営農指導員のほか、県やメーカー、関係者ら36名が集結。



「総合的土づくりによる高温に負けない水稲栽培」と題し、秋田県立大学金田吉弘名誉教授による講演をはじめ、農林水産部担い手支援課専門普及指導室や肥料メーカーによる情報提供等を行い、参加者は真剣な面持ちで受講。組合員へ情報を共有することを確認しました。

JA全農ちばは、引き続き水稲高温対策に真正面から取り組むとともに、JA職員の人材育成支援に取り組んでまいります。



研修会当日の動画はこちら

# TOPICS

## 第7回南総サマーフェア 開催！

JA全農ちばは、7月11日(金)・12日(土)の2日間、長生郡長南町の南総センターにおいて「第7回南総サマーフェア」(以下、南総フェア)を開催し、暑い中、展示会には2日間合わせて921名の組合員にご来場いただきました。

展示会では、農業機械メーカー15社が一堂に会し、最新の農業機械の展示や実演を行いました。また、組合員のコスト低減に繋がる取り組みとして、共同購入第3弾「4条刈コンバイン」や関東6県共同購入トラクター・田植機の展示も行いました。



また、中古農機・肥料農薬、資材相談コーナーや千葉県農業者総合支援センターによるVR農作業事故体験での農作業安全の啓発活動を行いました。さらに、展示会では初となる、近年課題となっている水稲高温障害についての対策の講習会を開催しました。

JA全農ちばでは、引き続き千葉県農協農機事業連絡協議会や各メーカーと連携し、農業機械事業を通じて省力化や生産性の向上・サービス体制の強化に努めてまいります。

### 第50回 JAグループ千葉農業機械大展示会

# 千葉アグリフェア2025

応援します！

入場無料

千葉県農業！

日時 10.24(金)・25(土)

両日 9:00~15:00 開催

場所 酒々井プレミアム・アウトレット P9駐車場

### 会場ご案内図



# 水稲 高温対策は秋耕から 稲刈り後の稲わらすき込み

稲刈り



## ●良質な米は秋の土づくりから！

高品質のおいしいお米の生産は秋耕と土づくりから始まります。

秋耕をしっかり実施し、春先に健全な根を張らせることで、土の養分供給力、**夏季高温**や急激な環境変化に対する抵抗力を高め、高品質で良食味米の安定生産につながります。

## ●稲わらのすき込み(秋耕)

稲わらにはケイ酸をなどの生育に必要な多くの養分を含んでいます。稲わらをすき込むことで土壌養分と有機物供給を同時に行うことができます。

しかし、すき込み時期が遅くなると、稲わらの分解不足が生じて、翌年の稲作に次のような影響を及ぼします。

- ▶田植後、酸素不足(還元状態)により、根腐れをおこす。
- ▶微生物が土壌中の窒素を先取りし、初期生育が悪くなる。

⇒適正な生育量が確保できないことや、根イタミを起こしているため特に出穂期前からの養分・分を吸えないことで、品質・収量の低下が心配されます。

## ●秋耕・稲わらすき込みの極意

田植え前までに分解が進むよう、刈取り後、秋の早い時期(地温15℃以上確保できる11月中旬頃まで)かつ、田面が乾いた状態で、5~10cmの浅耕とし、必要に応じて腐熟促進剤を施用し、すき込みましょう。また、**温室効果ガス(メタンガス)の発生抑制にも秋耕が有効**です。

## ●秋耕は良いコトばかり！！

秋耕・稲わらすき込みを適期に行うことで、「ジャンボタニシの越冬減少」、「害虫(斑点米カメムシ類)等の越冬減少」「雑草の減少」等にも効果◎

より詳しい情報は、  
JA全農ちばHPの  
営農情報集をチェック!!  
<https://www.zennoh.or.jp/cb/producer/einou/>



営農情報

## お知らせ

JA全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。  
身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

## アグリ情報“ちば”に係る 個人情報の取り扱いについて



組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報、は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

発行/全国農業協同組合連合会千葉県本部 令和7年8月15日発行(毎月1回15日発行) 通巻第182号  
編集・発行部署/管理部 総合企画課  
〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6 電話043-245-7360 FAX043-247-9715

「アグリ情報ちば」の宛名・送付先の変更や送付の停止をご希望の方は、JA全農ちばホームページの  
お問い合わせページにご住所・お名前を明記のうえご連絡ください。  
新規お申込みをご希望の場合は、お電話にて承ります。

### JA全農が提供するラジオ番組

**ZEN-NOH  
COUNTDOWN JAPAN**

**Tokyofm**  
Life time audio 80.0

13:00~13:55 毎週 **生放送**  
全国の農畜産物をプレゼントします。

15:50~16:00 毎週 **生放送**  
生産者の声や開発の道のりなど商品の魅力を紹介します。

SCHOOL OF LOCK!  
THURSDAY 23:00

## 農業部

Supported by **全農**

23:00~23:06 毎週 **生放送**  
農業について一緒に楽しく学びましょう。

送付先の  
変更・停止



JA全農ちば  
公式HP



JA全農ちば  
公式Instagram

